

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	302教室、ロボット製作実習室
担当教員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用したのニーズ調査と論文講読	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導				
第2回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用したのニーズ調査と論文講読	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導				
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用したのニーズ調査と論文講読	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導				
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用したのニーズ調査と論文講読	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導				
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用したのニーズ調査と論文講読	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用してのニーズ調査と論文講読
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導		
第7回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	パワーポイント	発表用資料の準備
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導		
第8回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	パワーポイント	発表用資料の準備
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導		
第9回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導		
第10回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導		
第11回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導		
第12回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導		
第13回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導		
第14回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導		
第15回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年	教室名	302教室、ロボット製作実習室
担当教員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う						
1 提出物、発表内容:35%						
2 授業態度、姿勢:35%						
3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第17回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作のテーマ発表			
第18回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作のテーマ発表			
第19回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第20回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第22回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第23回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第24回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第25回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第26回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第27回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第28回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第29回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第30回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302教室、ロボット製作実習室
担当教員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用したの文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第31回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第32回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第33回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第34回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第35回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第37回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第38回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第39回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第40回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第41回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第42回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第43回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第44回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第45回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302教室、ロボット製作実習室
担当教員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用したの文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第46回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第47回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第48回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第49回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第50回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第52回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第53回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第54回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第55回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第56回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第57回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマについての的確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備
		各コマにおける授業予定	中間報告会		
第58回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマについての的確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備
		各コマにおける授業予定	中間報告会		
第59回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考ができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第60回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考ができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302教室、ロボット製作実習室
担当教員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第61回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第62回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第63回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第64回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第65回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対象学年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302教室、ロボット製作実習室
担当教員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第76回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第77回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第78回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第79回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第80回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第81回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマに おける 授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第82回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマに おける 授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第83回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマに おける 授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第84回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマに おける 授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第85回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマに おける 授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第86回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマに おける 授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第87回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマに おける 授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第88回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマに おける 授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第89回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマに おける 授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第90回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマに おける 授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302教室、ロボット製作実習室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第91回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第92回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第93回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第94回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第95回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第96回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第97回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第98回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。		
第99回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	テーマについての的確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備
		各コマにおける授業予定	学科内報告会		
第100回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	テーマについての的確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。	パワーポイント	報告会用発表準備
		各コマにおける授業予定	学科内報告会		
第101回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。		
第102回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。		
第103回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。		
第104回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。		
第105回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。	研修日誌 報告書 成果物	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時間	通年	教室名	302教室、ロボット製作実習室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用したの文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第106回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。			
第107回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。	パワーポイント	報告会用発表準備	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。			
第108回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。	パワーポイント	報告会用発表準備	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。			
第109回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。			
第110回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。	研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
		各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。			

